



スタッフ発表会で掲示した昨年度のきらめきプロジェクト活動記録です。

平成29年度 きらめきプロジェクト 活動報告

4月

- ◆月例スタッフミーティング
- ◆歯学部ジェンダー学講義
(講師：佐賀大学医学部生体構造機能学講座
組織・神経解剖学 教授 城戸 瑞穂先生)
- ◆医学部ジェンダー学講義
(講師：NPO法人 福岡ジェンダー研究所
武藤 桐子先生)



5月

- ◆月例スタッフミーティング
- ◆グラウンドラウンド撮影
性差医学入門
(講師：国立病院機構 九州がんセンター
乳癌外科 部長 徳永 えり子先生)
医療法人たかやま内科医院
院長 雨宮 直子先生)



6月

- ◆月例スタッフミーティング
- ◆『きらめき通信Vol.39』発行

7月

第8回講演会 平成29年7月7日(金)

聴覚障害と共に生きる
～子供からおとなまで～
社会福祉法人
福岡障害者支援センター
児童発達支援センターこたま 園長 緒方 よしみ先生



そもそも発達障害とは何なのか、その特性と関わり方の工夫について具体例を交えて説明をしてくださいました。来場者からは、とてもわかりやすかった、もっと聞いてみたいといった声が多く聞かれました。

- ◆平成29年度きらめきスタッフ秋募集 開始
- ◆『きらめき通信Vol.40』発行



8月

- ◆第5回スタッフ交流会
- ◆平成28年度きらめきプロジェクト
非常勤医師・非常勤歯科医師秋採用面接
- ◆月例スタッフミーティング



9月

- ◆月例スタッフミーティング

11月

第8回学生交流会

平成29年11月20日(月)

100人100色の生き方
～きらめく人生を送るためのTips～
株式会社Medtech J.P. 代表取締役/女医コン事務局長/
循環器内科医/大分県人会インターナショナル代表 薬師寺 忠幸先生



薬師寺先生が開発された「百人会議」というシステム
(客席からスマートフォンで投票やコメントを送信すると
その場で会場のスクリーンに映し出される)が使用され、
画期的な参加型のイベントとなりました。

12月

- ◆平成30年度きらめきスタッフ募集 開始
- ◆月例スタッフミーティング
- ◆グラウンドラウンド撮影
- ◆『きらめき通信Vol.42』発行

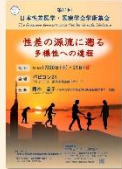
1月

第11回 日本性差医学・医療学会学術集会

平成30年1月20日(土) 21日(日)

パビヨン24にてきらめきプロジェクト副センター長の横木
晶子先生が会長を務められた、第11回日本性差医学・
医療学会学術集会が行われました。そこで、当きらめき
プロジェクト所属スタッフ23名もポスター発表致しました。

- ◆月例スタッフミーティング
- ◆グラウンドラウンド撮影
- ◆平成30年度きらめきプロジェクト
非常勤医師・非常勤歯科医師採用面接



2月

- ◆月例スタッフミーティング
- ◆『きらめき通信Vol.43』発行

3月

第8回スタッフ発表会

発表者 医師15名、歯科医師10名、事務補佐員3名

1年間の活動報告・紹介を行う事により、きらめきプロジェクトの活動意
義を自他ともに確認・周知、これか
らのプロジェクトの在り方を考える
良い機会となっています。



きらめき通信 vol.44

2018年4月(隔月発行予定)



スタッフ発表会が開催されました

3月8日(木)～3月12日(月)に本院外来診療棟2階ギャラリーにて『第8回スタッフ発表会』が開催されました。



この発表会では、きらめきプロジェクトに所属する医師・歯科医師が一年間の診療・研究の成果や、仕事と家庭・プライベートの両立をどのように行ってきたかなど、それぞれポスターにまとめ掲示しました。また今回は、日ごろよりお付き合いのある佐賀大学バルーンプロジェクトと久留米大学元気プロジェクトが共同で作成したポスターも掲示いたしました。

初日はスタッフが立ち、病院・学内関係者のみならず、福岡歯科大学から、また患者様やそのご家族等一般の方々にもご来場いただき、多くの励ましのお言葉や貴重なご意見をいただきました。



福岡歯科大学 馬場篤子先生と



当センターを含め男女共同参画に取り組むプロジェクトの活動が少しでも多くの方に伝わり、更なるご理解とより良い医療現場の実現に繋がっていただければ幸いです。今後ともきらめきプロジェクトをどうぞよろしくお願いいたします。

九州大学病院

きらめきプロジェクトキャリア支援センター

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

TEL・FAX: 092-642-5203

E-MAIL: kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp

URL: https://www.kyudai-kirameki.com/



HP



九州大学病院 きらめきプロジェクトキャリア支援センター

TEL/FAX: 092-642-5203

URL: https://www.kyudai-kirameki.com/ Mail: kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp



HP

日々頑張っている、きらめきプロジェクト所属のドクター（医師1名・歯科医師1名）を紹介しよう

医師

卒後12年目の内科医師です。会社員の大、2歳の長女、0歳の次女の4人家族です。2年間の初期臨床研修の後、関連病院勤務を経て、卒後6年目で大学院に入りました。大学院在学中に結婚し、長女を出産してから、しばらくは育児中心の生活となりました。保育園に預けるようになって、お迎えの時間があるため、研究に費やせる時間は出産前と比べて明らかに減ってしまい、博士号を取ることなく大学院は修了してしまいました。

当時、夫と私の両親は遠方に住んでいたため、大学院の後に常勤医として病院に勤務するのは難しいと考え、非常勤医として大学病院に残ることができる、きらめきプロジェクトに応募しました。

きらめきプロジェクトに所属してからは、外来化学療法室での勤務に加え、研究の継続が可能でした。そのおかげで、昨年秋に無事、博士号を取得することができました。きらめきプロジェクトで大学に残ることが出来なければ、学位取得にもっと困難を要したのではないかと思います。また、少ない時間ではありますが、外来化学療法室でがん薬物療法に継続的に関わらせて頂いており、これによって今後、常勤医に復帰する際のハードルが低くなるのではないかと思います。

きらめきプロジェクトや医局の先生方のご協力によって、現在勤務させて頂いていることに感謝し、これからも努力して参りたいと思います。



歯科医師

卒後7年目の歯科医師です。研修終了後、大学病院に勤務しておりましたが、持病の加療のためきらめきプロジェクトに応募し、採用していただきました。これまでの人生、健康体そのもので過ごしてきたのでいきなり入院、手術が必要な状況に陥り、まさに青天の霹靂でした。治療が終わり心身ともに落ち着いた今になって振り返ってみると、症状が現れてから通院の日々～治療終了まではずっと地に足がつかない状態で、何をやってもふと病気のことを思い出し不安になる日々でした。

しかし、家族の協力やきらめきプロジェクトでのご支援のお陰で、仕事や家事は一旦置いて、思い切り治療に専念することができました。さらに、念願だった認定医も取得することができ、病気療養と認定医取得を両立することができたのも、関わった皆様のご協力のお陰と感謝しております。また、これまで自分の仕事ばかりに集中するあまり、未熟者の私は周りがほとんど見えていなかったことも、少し心身の余裕が持てたことで分かってきました。

これからは周囲の人、環境に感謝を忘れず、「努力と自己実現」をモットーに新たな目標に向け邁進したいと思います（あとはさぼりがちな家事も、少しずつ慣れていこうと思います・・・。）



先日、東京まで勉強会に行ってきました。会場から見たレインボーブリッジです。あいにくの曇りでしたが、非常に実のある勉強会でした。